

日本消化器がん検診学会近畿支部 第33回保健衛生研修会実施報告書

4年ぶりの現地開催による保健衛生研修会では、がん検診における精度管理の重要性について、再認識できる機会となりました。また、プロセス指標の新基準値についてもご講演いただき、大変有意義な研修会となりました。

令和5年8月26日(土)	会場：京都アルカ 東館2階 中会議室
10:00~11:30	講演 「精度管理なきがん検診がん対策あらず —近畿圏域における胃がん・大腸がん検診の未来— the path to the future—」 講師 佐久総合医療センター・国立がん研究センター 雑賀 公美子 氏 司会 奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座 伊藤 高広 氏

【参加状況】

府県名	京都府	滋賀県	兵庫県	奈良県	大阪府	和歌山県	富山県	愛知県	福岡県
参加人数	8	4	16	5	14	3	1	1	1

職種	保健師・看護師	診療放射線技師	医師	臨床検査技師	その他
参加人数	17	26	5	1	4

【参加者からの感想】

- ・がん検診の精度管理について詳しく説明していただき、とてもわかりやすかったです。近畿のデータもあり、少しでも基準値に近づければいいなと思いました。
- ・わかりやすい説明で今後の課題(がん検診の実施について、集計結果など)がはっきりわかりました。現状把握をしっかり行い今後のやり方等見直していきたいと感じました。



ご参加ありがとうございました。